

HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



# 「障」ちゃん



NO.272

## 冒頭の一言

皆さん初めまして。今回から冒頭の一言を書かせていただきます雪といいます。拙い文章かもしれませんが、よろしくお願いします。

さて、ゴールデンウィークがあり、3年ぶりの行動制限のない連休とは言われていましたが、皆さんどうだったでしょうか？

どこかに出かけて外出を満喫された方、家でのんびりされた方、逆に家にいたけどバタバタ過ごされた方、ごーるでんういーく？仕事だったよ！の方。皆さんそれぞれの過ごし方をされたかと思えます。

それぞれ違う過ごし方をしていることとはどの過ごし方をしてもやはり多少なりともコロナ禍の影響があったかと思えます。今はしっかり対策をして、来年こそは流行前の日常に戻っていて欲しいものです。 雪

### —もくじ—

冒頭の一言 … 1	理事長就任のあいさつ 福田文恵 … 2
「心ないバッシング」 桑田愛子 … 3	DVD上映会報告 … 4-7
アルバイト紹介 … 8	会費納入のお知らせ … 9
運営会議報告 … 10-11	今後の予定 … 12-13
ありがとうコーナー … 14	

## 理事長就任のあいさつ

理事長 福田文恵

この度、長年理事長を務めてきた八木氏の体調が思わしくない等により退任しました。退任するまでの 20 年間の長きに渡り力を尽くされた事に心より謝意を表します。

今期より八木前理事長に代わり理事長を務めさせていただく事になりました。このような任に就くこととなり、大変身の引き締まる思いです。

NPO 法人文福は、障害児・者が地域で暮らしていけるように環境づくりを目的とし、色々な活動を続けています。誰もが年齢に応じた経験をしながらその人らしい人生を歩んで欲しいと思っています。

そのためには、いろいろな人との関わりを持つためのレクリエーションの活動、生活面や公共交通機関などの問題点を話して解決に導く障害者部会、権利擁護の視点から様々な問題がある事を知っていく学習会などなどの活動があります。

生活面での支援として、介護人派遣事業があります。

今後も、これらの活動や事業の継続と次世代への引継ぎを理事長としてはしていきたいと思っています。

現在の社会情勢の中では活動すること、事務所に大勢集まることは控えている状態ですが、以前のような社会情勢になった暁にはまた事務所に人が集まり賑やかな雰囲気活動ができるような環境を整えていきます。

その時が来ましたら、また皆様のご支援ご協力を心より賜りたく思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 「心ないバッシング」

桑田 愛子

心ないバッシングの中で私一人甘えて育った訳でござ  
いません。

派手好みとか、男好きで若い頃男にチャホヤされてい  
い気味だったとか言われ放題で、白黒はっきり話しあい  
ましょうね。

私は障害者としてよりも未来社会を常に前向きに勉強  
致して参りますので今後共宜しく願います。

二〇二二年五月

## DVD 上映会報告

去る 5 月 21 日午後 2 時より、サンフォルテで、DVD 上映会を行いました。参加者は、20 人でした。

学習会では、新型コロナウイルスが流行してから 1 年 5 カ月何も出来ませんでした。しかし、コロナ禍でも工夫して何か出来るのではないかと考えて、DVD 上映会を企画しました。

「いのちの停車場」という映画です。主演が吉永小百合で舞台が石川県金沢でした。最近の映画は上映期間が短いので、結構見逃してしまうことが多いのです。

映画は、東京の救命救急センターで救命医として働いていた咲和子が、ある事件の責任を取って辞めて、地元に戻って「まほろば診療所」在宅医療の医師として、働くことになったが、今まで自分がやってきた現場の治療方針と在宅医療の違いに戸惑いながら、治療困難な患者と出会い、関わって寄り添っていく中で、「死」について考えていきました。そして、自分の父親との関係でも決断を迫られていくことへの葛藤を描いていました。

学習会では、今まで、「死」「尊厳死」「安楽死」の問題を取り上げて DVD 上映会を行い、その後、意見交換をしてきましたが、今回は、コロナ感染予防から出来ませんでした。

それで、学習会に寄せられた感想と学習会メンバーの感想を書きたいと思います。

森田さん：考えさせられる映画でした。安楽死・尊厳死、永遠のテーマだと思います。一言では語れません。まだ頭の中は映画で、、、いっぱいです。これはぜひいろんな人に薦めたいと思いました。

女流囲碁棋士の場面で抱きしめる場面がありましたが、次の場面でえっ!? という感じになって、小児がんの女の子の場面には切なくて、お父さんとの場面もますます切なかったです。最後の場面が清々しくて嫌な場面のまま終わらなくてよかった。中は整理しきれませんがそんな感じです。

四十物さん：昨日上映された映画『いのちの停車場』での「安楽死」問題の扱いに関連して、少しの補足を試みます。

現在、日本一世界において安楽死・尊厳死の合法化をめぐっては、当人の耐えがたい肉体的苦痛、というより精神的苦痛が大きな要件となっています。その背景には、脳に働きかける苦痛軽減治療（疼痛治療）が進歩して、痛み等の肉体的苦痛での安楽死ということ自体が稀なケースになっている事情があるみたいです（痛みを和らげる治療がうまくいかないケースはあるかもしれませんが）。あの映画の中で描かれていた小児がんの子供に対するセデーションという意識レベルを低下させて苦痛を取る方法が、ここでも一般的なようです。ただしこの方法では、意識の回復ができないまま死に至るみたいで、医師によっては尊厳死と変わらない、という意見もあります。

では、まれなケースであったとしても、耐えがたい肉体的苦痛がある場合はどうすればよいのか？

日本では1960年代に、東海大学安楽死事件に対する判決で、安楽死許容条件が提示されています。この条件に合致した事例として、正当化されたケースはこれまで一つも存在していないようです。

【東海大学安楽死事件判決】——医師による積極的安楽死の要件

1. 耐えがたい肉体的苦痛があること、
2. 死が避けられずその死期が迫っていること
3. 肉体的苦痛を除去・緩和するために方法を尽くし他に代替手段がない、
4. 生命の短縮を承諾する患者の明示の意思表示があることである。

もし安楽死事件が起こっても、日本の検察はこの条件に該当すると判断すれば、おそらく起訴はしないと思われます（家族が告訴する場合は除く）。

河上さん：私は、この映画の題名を見た時に、ぜひ、観たいと思いました。内容がわからなかったのですが、昨日が2回目でした。まず、前も思ったのは、中々在宅医療が受けづらい世の中になっているけど、昔のように家で死を迎えられたら、いいなあと思いました。人それぞれどう最期を迎えるのか、病院か在宅かを選んで良いと思うところはありますが、「安楽死」については、クレシヨンマーク??がつかます。

後、父親が医者である娘に「安楽死」を頼むことについて、娘が医者だから、親子だから、頼めるのだろうか。でも、娘が親を「安楽死」させたら、それからの娘の人生はどうなるかを、親は考えないのだろうかということが一番疑問に思っていました。確かに痛いのは苦しいので、他人の事は、考えら

れないのかもしれませんが、私だったら、あなただったら、どうするのか、と、問いかけているような映画だと思います。

堀江さん：題名を、間違っ「いのちの終着駅」と記憶していたが、正しくは「いのちの停車場」だった。停車場というのは、本人にとっても家族にとっても、終末期や臨終は人生の終わりではなく、人間としての一つの心に留める大切な時間なのだと思います。家族や友人などにとって、大切なその人は心のなかでいつまでも生き続ける。だから、それは降りるとなにかの出会いがある一つの停車場であって、終着駅ではないのだ。コロナ禍以降、見舞いや葬式などがなくなって、友人と今生の別れをする機会を失っている。葬式はただのセレモニーだと思いつつも、別れを確認することができないのは困ったものだ。

中村さん：東京の大病院の救命救急センターで働いていた、白石医師は、ある事件の責任をとって病院を辞められ実家がある金沢に帰って来ました。徐々に再会した父と暮らしながら、小さな診療所で在宅医として働き始めました。その診療所では少人数の患者さんを中心に、患者さんの一人ひとりの生き方を尊重する治療を行っていて、これまで大病院で「命を助ける」現場で働いてきた白石医師は、治療らしい治療もしないで(見守る)というような治療の考え方の違いに戸惑いを感じたようでした。

でも、様々な事情から在宅医療を選択し、治療が困難な患者さん達と携わっていく中で、白石医師は診療所の医師として、その人らしい生き方を、患者さんやその家族と共に考えるようになっていきました。

そんな時、白石医師の父が病に倒れ、父は耐えがたい痛みで苦しむ、娘である白石医師に安楽死を懇願してきました。

私は基本的には安楽死は反対ですが、白石医師のお父さんのように全身に痛みがあり、どのような治療を施しても痛みを軽減させられない(治る見込みがない。)と医師達(複数の医師)がそう判断して、患者さん本人が「耐えられない痛みなんだ！死なせてほしい！」とうったえ続ける人に関しては、安楽死もありかなと考えるようになってきています。

そう考えるようになったのは安楽死についての本を読んでいるからと、私自身が最近左肩の凝りがひどく夜中に痛みのせいで、目が覚めてしまう日があ

るようになったからだと思います。こんな痛みが全身にあるとすれば私も死にたくなるだろうと思うからです。

ただ積極的に安楽死を推し進めていこうとは思ってはいません。もし安楽死が法制化されてしまうと、重度障害者や重篤な病人は『安楽死』の名のもとに殺されるという恐怖心もあるからです。

それから私はガン検診を受けたいと思った事はないです。もしガンになってしまったら、痛み止めとかの治療はしてほしいとは思っていますが、手術とかはせずに自宅で死んでいけたら良いだろうなと思っています。

なので、看取りもしてくれる在宅医で白石医師のような医師が沢山増えると良いと思いながら観ていました。

最後にこの『いのちの停車場』DVD 観賞会を企画運営して下さった学習会の皆さんに感謝の意を込めて終わりにします。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

今回のDVD 上映会について、まずお詫びします。

映画をレンタルせずにTVの録画を使用したために、字幕が無くて、せっかく観に来られた声が聞き取りにくい参加者にこちらの配慮が足りなかったために、申し訳ないことをしてしまいました。

深く反省して、今後、このようなことが無いように、気をつけていきますので、これに懲りずにこれからも参加して下さるようお願いいたします。

今回の映画を観られてどうでしたか？

今後、皆さんと一緒に観れたら良いなあとか、観たいという映画がありましたら、ぜひ、学習会担当の河上までお知らせください。

お待ちしております。よろしく申し上げます。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

文責：河上



## 自己紹介

文福アルバイト 入江 真理

はじめまして！入江真理と申します。

今年の1月に29年9か月勤めた職場を定年退職し、2月から文福でパート職員としてお世話になっております。現在は、富山大学医学部の寄付講座で週3回、パート勤務しており、その他の曜日に文福ともうひとつの事業所で同行援護や居宅介護等に携わっています。

現在の私の活動を少し紹介したいと思います。

2006年に障害者自立支援法が施行されました。時を同じくして視覚障害者ITサポートとやまが創立、視覚障害者のパソコンボランティア団体として活動を開始しました。私はその団体の事務局長をしており、2006年にヘルパー2級の資格を取り、ガイドヘルパーの資格をとりました。その後、2011年、法改正より障害者福祉サービス事業の同行援護事業が始まり、富山県内も2014年、同行援護従事者の養成講座が開催され、資格を取り、2014年に文福に登録をさせていただきましたがほとんど活動ができていませんでした。

今回、定年をきっかけに、かねてから従事したかった同行援護従事者に加えて、ヘルパー2級と移送サービスの講習を受けたこともあり、重度訪問介護にも入らせていただいております。

また、県内眼科の先生からご紹介頂いた視覚に困難を感じている患者さんのサポートも行っており、三つ星山の会、ブラインドマラソンの会、富山盲ろう者友の会等にも所属しておりますので視覚障害に関する福祉支援の情報提供や支援も行っております。何かございましたら相談頂ければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## ★ NPO法人文福の会員募集 ★

日頃、多大な協力をいただきありがとうございます。

文福では、障害者と健常者が一緒に障害者の社会参加を進めることと、障害者の自立生活を支えることを目的に、障害当事者による部会活動、介助保障のためのヘルパー派遣事業、人権と差別を考える学習会、障害者と健常者が一緒に楽しめるレクリエーションなどを行っています。

障害者差別解消法が施行されて6年、まだまだ厳しい社会情勢ではありますが、文福では、誰もが平等に社会参加でき、地域で当たり前と共に生きて行くための活動や事業を今後も行い、また優生思想を考える学習会など、一人ひとりの命や人権の大切さを問う企画を継続して行っています。文福の活動の趣旨に賛同して是非会員になって、一緒に活動したり支援したりして下さるよう、よろしくをお願いします。

☞ 会員種別 運営会員＝趣旨に賛同し、運営に関わる会員。総会で議決権を持つ。

月1回のペースで運営会議を行っています。

協力会員＝趣旨に賛同し、活動に参加したり支援したりする会員。意見を言うことはできるが議決権はない。活動への協力や経済的支援をして下さる方。

購読会員＝隔月刊のニュース「障ちゃん」や季刊誌「まっち」を購読する会員。  
年会費を払えば無料でお届けします。

※全ての会員の皆さんに「障ちゃんニュース」や「まっち」を配送します。

☞ 会 費 運営会員・協力会員＝年 3,000円 入会金は初年度のみ 1,000円  
購読会員＝年 1,000円 入会金無し。

☞ 会員申込 振込用紙を同封します。備考欄に会員種別を印字しましたので、入会する会員にチェックして会費をお振り込み下さい。

## ★ 2022 年度 会費納入のお願い★

会員の皆さんにはいつもご支援・ご協力ありがとうございます。今年度も会員を継続し年会費を納入して下さいますようよろしくお願いします。

会費は同封した振込用紙に印字してある会員種別にチェックをしてお振り込み下さい。会員の継続には入会金はいりません。会員を変更される場合も、あらためて入会金を支払う必要はありません。

尚、振込用紙は会員の有無に関わらず同封しています。請求ではありませんので悪くならずご了承ください。

## 2022 年 4 月 19 日現在 運営会議報告

### ○障害者部会

- ・神奈川県知的障害者福祉施設で虐待があったという報道があり、対応について部会で話し合うことに。
- ・2 月大阪高裁 3 月東京高裁で旧優生保護法による不妊手術の損害賠償の裁判があり、国側の敗訴の判決が出たが、国は控訴した。
- ・新年度から中村が部会長、日下が副部長となることになった。  
会計は森田がやることに。

### ○介護・介助人派遣事業部

- ・近日中にサービス提供責任者のプリントを配布予定。
- ・今年度のザ・カイジョの参加人数は未定だが、昨年と同じくらいにする。

### ○学習会部

- ・5 月 21 日土曜日、サンフォルテ 307 号室にて DVD 上映会を行う予定。  
上映タイトルは「いのちの停車場」

### ○レクリエーション部

- ・オンライン飲み会は毎月開催している。4 月は 16 日、5 月は 21 日の予定。
- ・夢宙人メンバーで一度集まって今後の方向性などを話し合う。

### ○障ちゃんニュース発行部

- 印刷は 22 日、発送作業と編集会議は 26 日火曜日に行う。
- ・昨年はコロナや雪などで発行ができず、またスケジュールもきついで、今回から毎月発行から 2 か月に 1 回の発行に変更する。

### ○まっち発行部

- ・完成したので 5 月頭に配布する。

### ○総会関係

・ここ 2 年間は縮小総会で行っていたが、今年は通常開催の予定。ただし、今後のコロナの状況によって変わる可能性がある。

- ・当日の係については今後の理事会や運営会議で決める。

### ○その他

- ・文福のホームページについて様々な意見を募集中。

○次回の運営会議は 5 月 17 日、サンフォルテ 307 号

報告者 栗島克幸

運営会議報告 2022 年 5 月 17 日(火)現在

●障害者部会

今期から部会長が日下に代わり、中村になります。

●学習会

5 月 21 日(土)「いのちの停車場」DVD 上映会を行います。

●介護・介助人派遣事業部

ザ・カイジヨ第 1 回目の日程を下記に記載します。

基礎課程 1 日目 7 月 2 日(土)、2 日目 7 月 3 日(日)

追加課程 7 月 16 日(土)

受講人数は通常の半分の 6 人に制限しています。

●レクリエーション部会

今のところ、オンライン飲み会しかできていません。今後の予定は未定です。

●障ちゃんニュース発行部

5 月 1 日(日)発行しました。次回は 7 月 1 日(金)発行で、原稿の方の依頼はしています。原稿の締め切りは 6 月 1 日(水)、印刷は 6 月 22 日(水)です。

発送作業と編集会議は 6 月 28 日(火)です。

次回発送の封筒に会費の振り込み用紙を同封します。

●まっち

5 月 1 日(日)に出来上がって 180 部版行しました。180 部で足りなくなってきたので、増刷する予定です。次号のテーマは「落ち着く場所」です。

●総会について

当日の役割について決めた。

出欠に関しては、6 月 14 日(火)までに事務局にお知らせ下さい。

●事務局からのお知らせとお願い

昨年からの人材募集に伴って、求人チラシのポスティングを五福界限の方に各自お願いします。時期は 6 月末のお天気の良い時としています。チラシと担当割に関しては事務局からお知らせします。

●その他

来月は総会があるので運営会議はありません。

次回の運営会議は 7 月 19 日(火)にあります。

文責：荒戸



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎第11回障害フォーラム in とやま

#### 『障害のある人が孤立しないで暮らせる共生社会をめざして』

主 催：富山障害フォーラム（TDF）

日 時：7月31日（日）13：30から17：00

会 場：富山県総合福祉会館 サンシップとやま 1階福祉ホール

内 容：基調講演 演題『障害のある人の社会参加と地域生活』

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 会長 阿部 一彦 氏  
シンポジウム

『障害のある人が孤立しないで暮らせる共生社会をめざして』

シンポジスト NPO法人文福 事務局長 河上千鶴子 氏

富山のインクルーシブ子育て応援kanon.

代 表 堀口 里奈 氏

富山市民生委員児童委員高齢者障害者福祉部会

前部会長 森田 幸 氏

コメンテーター 社会福祉法人日身連会長 阿部 一彦 氏

コーディネーター 富山大学名誉教授 鏡森 定信 氏

お問い合わせ：富山県障害者（児）団体連絡協議会

TEL：076-441-6302（担当：室さん）

## ◎令和 4 年度ロービジョン相談 便利グッズの体験会

完全予約制

個別相談日程

- ・第 1 日曜日 富山市民交流館（富山駅前<sup>シック</sup> C I C 3 階）
- ・第 3 土曜日 サンシップとやま

### 〈個別相談〉

生活訓練について（仕事・日常生活のこと）障害年金について

障害者福祉サービスについて（同行援護・移動支援など）

介護保険と障害者福祉支援について 進学や学習・学校生活について

### 〈ロービジョン補助具の体験〉（日常生活用具給付対象機器）

新聞の字が読みにくくなった→ルーペや拡大読書器など

白杖の導入と使い方について 遮光眼鏡について

### 〈i P h o n e ・ i P a d の使い方〉

視覚障害に便利なアプリの紹介やボイスオーバーなどの操作についてのアドバイスをを行います。導入についてのご相談もお受けします。

### 〈音声パソコンの導入について〉

音声リーダーによるパソコンの導入や便利なアプリケーションの紹介、導入方法や手続きについて対応いたします。

その他盲導犬導入の相談や補助具の相談も対応しております。

お問い合わせ：視覚障害者 I T サポートとやま（B i t s とやま）

TEL：090-2378-6944（担当：入江さん）

## ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお祈いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



この「障」ちゃんニュースが届く頃は、7月ですね。今年の夏は、猛暑になると長期予報では言っています。ロシアとウクライナの戦争と新型コロナウイルスで上海のロックダウンの影響もあって半導体が不足しています。それで、車や電化製品がうまく流通していません。猛暑の時にエアコンが故障したら大変ですね。私が気になっているのは、ウクライナにいる障害者はどうしているのだろうか、心配になっています。(アパッチ)

### \* 2022 年度新規会員・継続会員 \*

大西 貞夫さま 齊藤 喜美子さま 坂井 由美子さま 村上 隆さま  
清水 博史さま 河上 千鶴子さま 上田 孝子さま

### \* いただきもの \*

能登 泰子さま 粟島 実さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。